

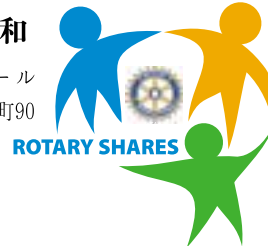


# 碧南ロータリークラブ週報

第2399回例会 平成20年2月27日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール  
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
 E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)  
 ■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
 国際ロータリーのテーマ  
**ロータリーは  
 分かち合いの心**

● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子



鈴木 敏弘会長

## 会 長 挨拶

本日のお客様は御座いません。卓話は当クラブの会員矢笠隆さんです。

雨水も過ぎ一雨ごとに春らしくなって行く季節になりました。春も目の前と存じます。私自身、風邪がみであり十分睡眠を取り早く治したく思っているところです。

会員の皆様も風邪は万病のもとと言います、十分気を付けて下さい。今日は中国香港の今と昔についてお話しを申し上げます。国旗及び国状についてはご存じと思いますので省略致します。昭和41年(1966年)3月名古屋空港国際線、最初に開設された路線が香港でありました。キャセイ航空が名古屋→大阪→台北→香港へと途中寄航しながら週2便の路線で今では考えられない程時間の掛るスケジュールでありました。私の知人が渡航最初の訪問地が香港であって1972年6月であり35年も前であったそうです。当時「東洋の真珠」「百万ドルの夜景」などと呼ばれ欧米からも多くの観光客が訪れていた東洋の一番人気の観光地でありました。この時期まだ中国本土の観光は許可されていなかったし、文化大革命の大変な時期でありました。香港の観光地は難民アパート、アバディーン(漁港)タイガーバームガーデン、ビクトリアピーク、レパルスベイ、中国国境などと隣のポルトガル領の日帰り観光で、あとはショッピングに相当時間が費やされていきました。その頃のお土産物といえば今では見向きもしないジョニ黒3本と、たばこはダンヒル、時計はオメガ・ローレックス、ライターなど免税範囲を目一杯ギリギリ買い込んだ光景が思い浮かべられます。1997年香港は中国へ英国より返還され、その時期を境に日本人訪問客は一変したようです。返還前にお客様の心理として最後の香港を見ておこうと前年の200%を超えるブームになっており香港は買い物天国「自由港」「フリーポート」など世界のブランド品が安く買えると一流ホテルのアーケードから買い物袋を掲げて満足な笑みの日本人を見かけました。返還後は一変して日本人観光客が激減しショッピング客も以前とは3分の1位に減ってしまいました。原因は返還前は現地の旅行代金(地上費)が格安価格であったものが、返還直前から通常価格を大幅に上回る値上げになり、外為相場も円安傾向でブランド品は日本でもそんなに差が無くなってしまった為魅力がいきなり無くなったようである。1999年12月に魅力がない原因を調査してみると現地の物価の高さに驚きその後も低迷が続き日本人観光客は欧米をはじめバリ島、タイなど香港に見

向きもしなくなりました。セントレアからも航空便はJALは撤退しキャセイ航空が飛んでいるだけになった。昨年10月の単月ではマカオに外国人訪問者数で抜かれてしまったようだ。新空港の開設やディズニー香港の新設など外国人誘致に努力しているようだがいっこうに回復していない今の香港であります。

## 新入会員入会式

杉浦栄次君



杉浦栄次君

## 幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・IMの記念品が届いております。
- ・本日の例会終了後201号室にて創立50周年正副実行委員会を開催します。



石橋嘉彦幹事

## 委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数80名(内出席免除者11名の内出席者7名)出席者63名

出席対象者 52/75名

出席率 84.00%

欠席者17名(病欠者1名)

前々回修正出席率 95.59%

〈雑誌委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

ロータリーの友 歌壇P⑮ 青木 稔氏

「大根の蓐をゆらし渡る風奥能登にはや冬近づきぬ」

〈ニコボックス委員会〉

杉浦 健次君 1+1が2にならない親子ですが宜しくご指導の程お願い申し上げます。

杉浦 勝典君 業界の話題作りにと言った事が朝日新聞に載りました。色々ありますが、よろしくお願ひ申し上げます。

鈴木 輝彦君 先日平松太様に大変お世話になりました。有り難うございました。  
ゴルフ部会2月例会において繰り上げ優勝しました。池田様に感謝致します。有り難うございました。

清澤 聡之君 久しぶりに名刺を新しくしました。

竹中 誠君 2/16~2/20 5日間ですが、オイスカ訪問団(12名)にてフィリピン・ネグロス島へ行き、オイスカの活動状況を視察してきました。

2/16 フィリピン、ネグロス州にて、70年の伝統あるバコロドRC会長・役員ご夫妻とエル・フィッシャーホテルにて夕食をして、交流する事が出来ました。

平松 太君 長田さん、鈴木さん、平岩さん、榊原さんとってもお世話になり有り難うございます。

山中 寛紀君 2月23日、24日2日間瀬戸サンパレアにて実施されたライラセミナーでは当クラブから送った2名の男女研修生、無事に2日間の発表会の役もこなすことが出来、ほっとしております。

先週末には新美雅浩様と榊原健様にお世話になり、有り難うございました。

新美 雅浩君 新入会員の杉浦栄次君をご紹介します。

榊原 健君 2/23ライラセミナーの研修会に山中先生と共に行ってまいりました。初めてライラの意味が判りました。少しロータリアンになった気がします。

鈴木 健三君 いい事がありました。

杉浦 栄次君 本日よりお世話になります。宜しくお願いいたします。

## 卓

## 話

### 「私の履歴書」 矢埜 隆君

本日は皆様の前でお話させて頂く機会を頂き有難うございます。

さて、私は不治の病を生まれつきいくつも抱えております。「頭が悪い」「根性が悪い」極め付きは「口が悪い」よくもここまで揃ったものだ残念に思っています。こんな私ですから、よもや私がホテルマン出身だと思われる人はおられないと承知しております。ご明察の如くでございます。入会時のご案内頂きましたが、私の「生業」は経営コンサルタントであります。コンサルとしての道を歩きキッカケになった業種業態が「ホテル業」でありました。以来業界を30数年間、専門家としてあるいは利用客として見つめてきたという実に単純な御縁で現在グランドホテルの事業再生に取り組んでおります。



本日は私に与えられたテーマは私の履歴書という大変難しいものです。プロのコンサルとしての私の生き様をお話して履歴としたいと思えます。私の話は全く面白くありません。昼食後の一時お休み下さって結構でございます。ところで、私はこのコンサルタントという言葉が大嫌いがあります。マスコミ等を賑わす悪党どもが競って名乗るのがコンサルタントでありまして、如何わしい職業名の典型といえます。私は若くしてこの道を歩き出したことで、共著ではありますが著作も数冊あり、話が斬新で強烈という評判を得て、かなりの講演を引き受けた時代もありましたが、常に「こんなんで役に立っているだろうか」との自問自答と自責の念を禁じ得ませんでした。

アメリカの有名なジョークですが、ある人が友人の税理士さんに税務の相談をしました。数日後、税理士さんから相談料の請求書が送られてきました。法律的に支払義務の有無を友人の弁護士さんに相談しました。同じく請求書が送られてきた、というものです。相談料という概念は日本ではまだまだ定着いたしません。税理士さんは税務の相談だけで生活しているわけではありません。弁護士さんも法律相談を収入の糧にしているわけではありません。専門家としての収入源である、いわゆる実務があります。では経営コンサルタントはといいますと、相談から経営実務に至る過程が断絶されているのが実情です。相談を受けっぱなし。勿論料金の発生なし。これに終始しますと飢え死にするしかありません。真面目にやればやるほど自縄自縛に陥りますからやつてられません。コンサルとしての仕事の進め方に問題があるのではと思わざるを得ないのです。私は20代後半に独立しましたが、この時代は経営の高度成長期の最盛期にあたりまして、世はまさに空前の旅行ブームが起きていました。良好な宿泊が決定的に不足していた時代ですから世相に呼応してホテル建設のラッシュ時代でもありました。このホテル建設の主力が異業種からの新規市場参入でありました。新規参入ですから社内にプロは存在しません。社外に人を求めるにしても現在のようなヘッドハンティングのシステムが無い時代でした。私が企業の担当者としてホテル建設を手懸け成功させたことを知る取引銀行担当者からホテル建設を計画中の企業を紹介され、建設プロジェクトにコンサルとして参加する。つまりシステムに組み込まれるようになりました。プロジェクトの一員ですから、先に申し上げました、無料相談はありません。総事業費の中にコンサル料は組み込まれて事業計画が為されます。実に有難い仕事でありました。しかし、「好事魔多し」と言われますが、昭和48年暮れ皆様ご存知の石油ショックが起これ日本経済は敢え無くダウン致しました。建設資材の高騰に喘ぎ、コンサル料の支払いもまま為らない状況に陥

り、私も最後のプロジェクトを終えて敢え無く討ち死にしました。若い身空で先生と呼ばれ高額を食んで高級車に乗り好い気になって、いつもまでもこの状態が続くと思っていましたが一巻の終わりでした。

今日は事業再生という名のビジネスが盛んに行われています。グランドホテルもその例に漏れません。当時の私はこの事業再生にこそ自分の生きる道がある。自分のスキルを活かせることができると考え進路の舵を大きく切ることになりました。その延長線上に今日の仕事もあります。中小企業経営の指導をするというような傲慢な考えから完全に離れることにしました。コンサルタントでは無くコンサルティング・スキルを持った経営パートナーになることにしました。

私のような者を必要とする企業は病気です。それも性質の悪い、この病は金欠病と呼ばれています。私への報酬を払いたくても払えない状況です。当然ながら決算書を読み込み無駄な経費を取り出して削減しその金額を役員報酬として受けます。ささやかなものです。殆どの企業には、いわゆる内部留保がありません。つまり純資産の部が赤字です。鼻水も出ません。これからスタートして2年間に蓄積した内部留保のから退任時に役員退任慰労金規定に基づいて算出した金額を成果報酬として受けることにしました。

最後になりますが、のた打ち回って悩み苦しんでいた若い日に今は亡き奈良薬師寺の高田先生にお目にかかる機会を得ました。この時に教わった言葉を皆様にお伝えして話を終えたいと思います。

「あたりまえのことを、あたりまえにすれば、あたりまえのことが、あたりまえにできる」

このあたりまえのことが判りたいなら

かたよらない心

とらわれない心

こだわらない心

この三つの心で物事の本質を見つめなさい。

私のような凡夫の者には簡単なようで大変難しい教えです。本日はご清聴頂き誠にありがとうございました。

**次回例会案内 平成20年3月12日(水)**

**「国税不服審判所の概要と特色」**

**刈谷税務署長 鈴木 文男氏**